

平成29年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol. 25 平成29年10月19日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

くらし部会ワーキング⑤「ヘルパーのつどい」では、9月28日に今年度1回目の介護技術リスクマネジメント研修「腰痛予防について真面目に考えよう～ヘルパー業務を1日でも長く楽しく続けるために～」を開催、9事業所29名の方に参加頂きました。研修講師はケア21二見の管理者である大西さんにお越し、講義とトレーニングの実技を行い、また、株式会社アーサの橋本さんより、「移乗支援用具の紹介と活用法」と題したミニ講義と、最新の介護機器を紹介頂き、大変充実した研修となりました。当日の様子をワーキングメンバーである、ふらふの倉八さんにレポート頂きます。

今回の研修では、ケア21大西氏が冗談を交えながら楽しい雰囲気の中、体の構造を知り、筋肉の使い方を意識したトレーニングを行い、介助者に多い腰痛予防ができる研修となりました。参加者が実際に参加して楽しみながら体幹トレーニングや筋力トレーニングの必要性や方法を理解し習得できたと思います。短時間の研修でしたので、紹介できるトレーニングに限りはありましたが、今後もトレーニングに詳しい人を招き、年齢別や体力別に分かれて、安全にしっかりとした予防トレーニングを定期的に行うと良いのではないかと思います。また事業所へ持ち帰って、ヘルパーさんたちに指導できるような研修と位置づけることが大切ではないかと感じました。

また、今回ご紹介頂いた福祉用具の開発スピードに驚かされました。立位台かと思ったものが実はリフトで、ベッドに座ったままリフトを近づけて移乗ができるという画期的なものでした。車椅子からベッドへ移乗できるよう、車いすのサイド部がそのままスライディングボードになり、利用者さんを持ち上げることなく移乗できるなど、福祉用具各社で特色のある開発が進んでいて、利用するには不具合や利用者が限定される場面もありますが、開発者の熱意が伝わったように感じました。

ヘルパーを続ける上では、体力維持のための継続的なトレーニングは大切で、支援者自身が高齢者になった時に‘やってよかった’と思えるようなプログラムにしていければと思います。ゆくゆくはコアメンバーや参加者からトレーニングの指導者を輩出できれば、プロの高額なトレーニング費用をかけることなく、トレーニングができるのではないのでしょうか。

研

修

風

景

